

第15回総務省行政事業レビュー外部有識者会合

令和6年4月18日
持ち回り開催

[次第]

- 1 総務省行政事業レビュー公開プロセス対象事業の選定について
- 2 当面のスケジュールについて

[資料]

- 資料1 令和6年度総務省行政事業レビュー公開プロセス対象事業の選定について
- 資料2 令和6年度総務省行政事業レビューにおける当面のスケジュール

総務省行政事業レビュー
推進チーム事務局

令和 6 年度総務省行政事業レビュー
公開プロセス対象事業の選定について

令和 6 年度の行政事業レビュー公開プロセスの対象事業の選定にあたっては、行政事業レビュー実施要領（令和 5 年 3 月 31 日行政改革推進会議改正）において、「チームが幅広い候補事業を外部有識者会合に示し、外部有識者の理解を得て絞り込みを行うこととする。」とされています。

今般、公開プロセス対象候補 6 事業が確定したことを踏まえ、別紙「公開プロセス事業の選定要領」により、事業の絞り込みを行い、公開プロセス対象 3 事業を決定することとします。

以上

公開プロセス事業の選定要領

- 概要 公開プロセス対象候補6事業（別添1）のうち、公開プロセス当日に議論する3事業の選定を行う。
- 選定者 （総務省外部有識者）
北大路信郷 明治大学名誉教授
有川 博 元日本大学総合科学研究所教授
楠 茂樹 上智大学法学部国際関係法学科教授
西出 順郎 明治大学専門職大学院ガバナンス研究科専任教授
横田 響子 株式会社コラボ代表取締役
- （行政改革推進会議外部有識者）
佐藤 主光 一橋大学経済学研究科教授
瀧 俊雄 株式会社マネーフォワード グループ執行役員
- 選定方法 外部有識者7名による投票方式（別添2）とする。
なお、外部有識者会合は、持ち回り開催とするため、総務省事務局において、各有識者に事業概要、選定方法等を個別に説明を行い、後日、メールにて持ち回り審議の上、事業選定を行う。
- 個別説明 4月18日（木）から5月16日（木）
- 審議日 全有識者への個別説明終了後、速やかに実施。
（参考）
4月18日 外部有識者会合（持ち回り開催）開始
～5月16日 事務局より個別説明
5月下旬 メールにて持ち回り審議・3事業選定
選定3事業に対する意見聴取・最終決定
外部有識者会合（持ち回り開催）終了

令和6年度行政事業レビュー 公開プロセス対象候補事業リスト

R5シート 番号	事業名	R6予算額 (R5予算額(補正含む)) (億円)	事業概要	主な論点
0171	統計人材確保・育成事業	1 (2)	国・地方公共団体の職員を対象に統計作成の中核を担う統計人材の育成を目的とした統計研修の実施のほか、社会人・大学生を対象としたデータサイエンス・オンライン講座等の実施を通じて、官民間問わずデータサイエンスに関する人材の育成と国民と事業者によるデータの適切な利用を推進し、統計調査に対する国民のリテラシーの向上を図るもの。	<p>【視点】</p> <p>統計作成の中核を担う統計人材の育成は、正確な統計の作成の観点で重要</p> <p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和46年から実施されている事業であるが、時代の変化により本事業の取り巻く環境はどのように変化したと考えているか。また、事業実施によりもたらされた効果をどのように評価するか。 ・「政府統計データの利用率、認知率が低い状況」の原因として考えられることは何か。 ・本事業が果たす役割をどのように考えているか。 ・「統計研修の満足度及び理解度の向上」にあたり実施していることは何か。 ・本事業を実施するにあたって課題となる点は何か。その解決にあたり、考えはあるか。
0050	マイナンバーカードを活用した証明書自動交付サービス端末導入補助に係る経費	0 (0)(R4補正繰越:4)	マイナンバーカードを利用したコンビニ等での証明書自動交付サービスについて、コンビニがない市町村においてもマイナンバーカードの利便性を住民が享受できるよう、郵便局等へキオスク端末等を設置するもの。	<p>【視点】</p> <p>マイナンバーカードの普及や利用促進は、行政の効率化、国民の利便性向上の観点で重要</p> <p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施によって、どれほどメリットがもたらされたと評価するか。 ・端末が設置された拠点において、どれほど利用されたのか。 ・利用率が低いのであれば、その原因としてはどのようなことが考えられるか。 ・今後、同種の事業を実施するにあたって課題となる点や予算の課題は。
0066	防災・減災のためのリモートセンシング技術による高精度データの収集・分析・配信技術の開発及び基盤の整備	0 (12)	防災・減災の分野において、降雨状況等を高精度に観測可能なリモートセンシング技術の導入が期待されているものの、観測データが膨大となり、リアルタイムの伝送に課題を残していることから、AI等による圧縮・復元手法を用い、平時はもとより災害時等の限られたトラフィック環境下でも、リアルタイムでデータを提供するための要素技術を開発するもの。	<p>【視点】</p> <p>豪雨災害等の発災及びその予兆をいち早く観測・分析することは、災害被害低減の観点で重要</p> <p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本研究開発の実施によって、どれほどメリットがもたらされると想定しているか。 ・研究成果の波及効果について、どのように考えているか。 ・目標年度については研究開発終了5年後(令和11年度末)となっているが、将来的なフォローアップは実施することとなるのか。 ・豪雨災害等の発生時における情報伝達手段について、一番課題となっていることはどのようなことか。それらを解決する手段として考えられることは何か。
0103	通信分野におけるSBOMの導入に向けた調査	0 (5)	情報通信システムに普及したオープンソースソフトウェアに含まれる悪意あるコードや深刻な脆弱性を狙ったサイバー攻撃が発生しているため、ソフトウェア部品の把握や迅速な脆弱性への対応に欠かせない、SBOM(ソフトウェア部品構成表)の通信分野への導入に向けた調査を実施するもの。	<p>【視点】</p> <p>年々巧妙化するサイバー犯罪への対応は、サイバーセキュリティ強化の観点で重要</p> <p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本調査の実施によって、セキュリティ対策への波及効果について、どのように考えているか。 ・事業終了後のフォローアップを実施することとなるのか。調査結果をどのように生かすのか。 ・一過性の調査ではなく、今後も同種の事業が継続して実施されるのか。 ・今後、同種の事業を実施するにあたって課題となる点は何か。
0124	電波の安全性に関する調査及び評価技術	12 (14)	携帯電話等から発射される電波が人体等に与える影響に対する関心が高くなっているため、電波が人体や医療機器等に与える影響を科学的に解明し、より安心・安全に利用できる電波環境の整備を目的とし、調査研究等を実施するもの。	<p>【視点】</p> <p>電波の人体や医療機器への影響を解明することは、電波の安心かつ安全利用の観点で重要</p> <p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本調査の実施によって、どれほど人体への影響を抑止できたと評価するか。 ・本事業による調査結果が、具体的に役立った場面はあるか。 ・現在課題だと感じている(解決しなければならない)テーマは何か。電波を取り巻く環境が大きく変化している中、テーマ選定はどのように行っているのか。 ・今後、事業を実施するにあたって課題となる点や予算面での課題は。
0192	消防大学校における教育環境の整備	2 (3)	①全国の消防職員・消防団員に対する高度かつ専門的な教育訓練の実施、②効果的・効率的な研修等を実施するためのICTの導入、大規模災害等対応能力訓練装置など教育訓練施設等の整備・運用に係る施策を実施することにより、消防防災体制の充実強化を図るもの。	<p>【視点】</p> <p>消防職員等の専門的な教育訓練の実施は、災害から国民の生命、身体及び財産を守る観点で重要</p> <p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多年にわたり事業が継続されているが、事業実施によりもたらされた効果、本事業が果たす役割をどのように評価するか。 ・現状課題に「複雑多様化する・消防業務の高度化・専門化に対応するため・教育訓練の強化が求められている」とあるが、具体的にどのような実態となっているのか。現場が苦労していることはどんなことか。(消防現場の課題をどのようにとらえているか) ・現場のニーズに応えるために教育訓練をどのように変化させ、どんなことに工夫しているのか。

公開プロセス対象事業（投票用紙）

有識者名： _____

	事業番号	事業名	選定理由（※）
第1優先			
第2優先			
第3優先			

<留意事項>

- 公開プロセス対象候補事業リスト（別添1）のうち、公開プロセス当日に議論すべき3事業の選定をお願いします。
選定にあたっては、優先順位ごとに、第1優先に3点、第2優先に2点、第3優先に1点を付与し、得票合計点上位3事業を公開プロセス事業として選定します。
- （※） **お手数ですが、上記投票をいただきました各事業につきまして、選定された理由を必ず御記載ください。**

(参考)

公開プロセス対象事業の選定の考え方

選定の基準

1. 外部有識者点検対象事業のうち、以下の基準のいずれかに該当する事業
【行政事業レビュー実施要領 第2部3(1)①】
 - ア アウトカムの設定など、EBPM的観点から点検する必要があるもの
 - イ 事業の規模が大きく、又は政策の優先度の高いもの
 - ウ 長期的又は継続的に取り組んでいる事業等で、執行方法、制度等の改善の余地が大きいと考えられるもの
 - エ 事業の執行等に関して、会計検査院、総務省行政評価局、マスコミなど内外から問題点を指摘されたもの
 - オ 現年度に政策評価における実績評価の対象となる施策に関連するもの（複数も可）
 - カ その他公開の場で外部の視点による点検を行うことが有効と判断されるもの

2. 公開プロセス対象事業の選定にあたり、論点が専門的・技術的に過ぎ国民の関心を惹起することが期待し難い事業、事業内容の改善の余地が乏しいと考えられる事業など、公開の場で議論するのにふさわしくない事業は対象としないものとする。
【行政事業レビュー実施要領 第2部3(1)②】

3. 原則、事業単位で1億円以上のものとする。
【行政事業レビュー実施要領 第2部3(1)③】

令和 6 年度総務省行政事業レビューにおける
当面のスケジュール

- 4月18日(木)
～5月16日(木) 外部有識者会合(持回り開催)
- 5月17日(金)頃 公開プロセス対象事業仮決定
- 5月24日(金)頃 公開プロセス対象事業最終決定
- ①5月31日(金)、
②6月3日(月)
【総務省有識者及び
行革事務局有識者】
- 公開プロセス対象事業事前勉強会
①、②13:00～17:00頃
第1特別会議室(中央合同庁舎第2号館8階)
- 6月19日(水) 公開プロセス本番
13:30～17:00頃
第1特別会議室(中央合同庁舎第2号館8階)

※詳細日程等については、別途お知らせします。